

令和5年度「青森市文化観光交流施設」に係る事業報告書等評価結果

青森市文化観光交流施設については、（公社）青森観光コンベンション協会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和5年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和6年7月31日

施設名	青森市文化観光交流施設
設置目的	市民が誇る郷土の伝統文化である青森ねぶたの保存及び伝承を図るとともに、その活用を通じた多様な交流の拠点を提供し、もって本市の文化及び観光の振興並びに地域社会の活性化に資することを目的として設置。
所在地	青森市安方1丁目1番1号
指定管理者	【名称】公益社団法人青森観光コンベンション協会 【代表者】会長 佐藤 健一 【住所】青森市新町1丁目2番18号
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	管理運営業務仕様書及び事業計画書に基づき、職員の配置や研修、設備の維持管理（一部再委託）、危機管理対策、個人情報管理、省エネルギー対策などを適正に行っている。	○	
運営について	管理運営業務仕様書及び事業計画書に基づき、青森ねぶたの保存伝承・後継者育成事業や市民・観光客との交流事業を実施しているほか、施設の利用促進を図るための広報・宣伝活動を積極的に行っている。 また、意見BOXやホームページ等で利用者からの意見を収集し、毎日実施しているミーティングで問題点の把握や必要事項の周知徹底を図るなど、利用者へのサービス向上に努めている。	○	
事業実施結果について	管理運営業務仕様書及び事業計画書に基づき、ねぶたの保存伝承、地域文化の振興、企画展等に係る各種事業が、コロナ禍のなかでも対策の下、実施されている。 令和元年度以来3年ぶりに青森ねぶた祭が開催され、新作ねぶたを4台入れ替えたほか、全国旅行支援等の実施に伴い、観光需要が回復傾向に有り、ねぶたホール・ねぶたミュージアムへの入場者数は、目標を上回る約24万1千人となり、また、施設への総入館者数は、約40万4千人となるなど、多くの来館者で賑わいを見せた。	○	

収支決算書 について	指定管理業務以外の経費混入は無く、収支は適正に処理されている。	○	
---------------	---------------------------------	---	--

【総合評価】
<p>平成23年1月5日に開館して、令和2年4月から3期目の指定管理期間となっており、一般的な運営管理は適正である。</p> <p>令和5年度は、クルーズ船の寄港数が過去最高であったほか、台湾との直行チャーター便の運航などにより、台湾や中国などの外国人旅行客が増加し、インバウンドを含む観光需要が向上したことに伴い、利用者数は開館以来過去最高を記録した。</p> <p>一方で、電気代や物価高騰に伴い、支出額は増加しているものの、支出抑制に努め、安定的かつ適正な管理運営が図られている。</p> <p>今後においても、クルーズ船の寄港数増加や国際直行便の復便等を見据え、ワークショップなど誘客事業を見直すなど提供サービスを創意工夫しながら、更なる利用者増加が図られる取組を継続的に推進していただきたい。</p>
【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】
<p>【担当課】 青森市経済部観光課 【電 話】 017-734-5153 【メール】 kanko@city.aomori.aomori.jp</p>